

この説明文書は、お薬とともに保管し、服用の際には、よくお読みください。



# のどの痛み・せき・鼻水に効く ペラック®コールドTD錠

医薬品  
総合感冒薬

## 特 徴

- トランネキサム酸、リン酸ジヒドロコデイン、塩酸ジフェニルピラリンなどを配合した総合感冒薬です。
- 抗プラスミン成分「トランネキサム酸」が、のどの痛みを抑えます。
- 鎮咳成分「リン酸ジヒドロコデイン」が、せきをしずめます。
- 抗ヒスタミン成分「塩酸ジフェニルピラリン」が、アレルギー症状によるうっとうしい鼻水を抑えます。



## 使用上の注意



### してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

#### 1. 次の人は服用しないこと

- (1)本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2)本剤または他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

#### 2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含む内服薬(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬)、トランネキサム酸を含む内服薬(鼻炎用内服薬、歯科口腔用薬)

#### 3. 服用後、乗物または機械類の運転操作をしないこと

(眠気があらわれることがある。)

#### 4. 服用時は飲酒しないこと

#### 5. 長期連用しないこと



### 相談すること

#### 1. 次の人は服用前に医師または薬剤師に相談すること

- (1)医師または歯科医師の治療を受けている人。
- (2)妊婦または妊娠していると思われる人。
- (3)授乳中の人。
- (4)水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっているまたはその疑いのある乳・幼・小児(15才未満)。
- (5)高齢者。
- (6)本人または家族がアレルギー体質の人。
- (7)薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (8)血栓のある人(脳血栓、心筋梗塞、血栓性静脈炎等)および血栓症を起こすおそれのある人。
- (9)次の症状のある人。  
高熱、排尿困難
- (10)次の診断を受けた人。  
甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障

#### (11)肝障害を有する疑いのある人。

#### 2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師または薬剤師に相談すること

(1)服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
そ の 他	排尿困難

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさがあらわれる。

症状の名称	症 状
皮膚粘膜眼症候群 (ステアリン酸マグネシウム症候群、 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群))	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮ふや白目が黄色くなる）等があらわれる。
間質性肺炎	空せき（たんを伴わないせき）を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。（これらの症状は、かぜの諸症状と区別が難しいこともあり、空せき、発熱等の症状が悪化した場合にも、服用を中止するとともに、医師の診療を受けること。）
ぜんそく	

(2) 5～6回服用しても症状がよくなる場合

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続または増強が見られた場合には、服用を中止し、医師または薬剤師に相談すること  
便秘、口のかわき

## 効能・効果

かぜの諸症状(のどの痛み、発熱、悪寒、頭痛、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、せき、たん、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

## 用法・用量

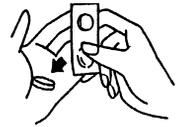
次の量を食後なるべく30分以内に服用する。

年 齢	1 回量	1 日服用回数
成人(15才以上)	3 錠	3 回
15才未満	服用しないこと	

### 〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 用法・用量を厳守すること。  
(2) 錠剤の取り出し方 右図のように錠剤の入っているPTPシート  
の凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用すること。(誤ってそのまま飲み込んだりすると、食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながる。)

〈錠剤の取り出し図〉



## 成分・分量

1 日量(9 錠)中

成 分	分 量	は た ら き
トラネキサム酸	750mg	炎症のもととなるプラスミンを抑えて、のどの痛みを緩和する。
アセトアミノフェン	450mg	熱を下げ、頭痛等を緩和する。
エテンザミド	750mg	熱を下げ、頭痛等を緩和する。
塩酸ジフェニルピラリン	4mg	鼻水、鼻づまり、くしゃみ等を緩和する。
リン酸ジヒドロコデイン	24mg	せき中枢に作用し、せきをしずめる。
dl-塩酸メチルエフェドリン	60mg	気管支をひろげて、せきをしずめ、たんの排出を助ける。
グアヤコールスルホン酸カリウム	150mg	たんをうすめて出しやすくする。
無水カフェイン	75mg	頭痛を緩和する。

添加物として、ヒドロキシプロピルセルロース、トウモロコシデンプン、リン酸水素カルシウム、ポビドン、クロスカルメロースナトリウム、ステアリン酸マグネシウム、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、マクロゴール、酸化チタン、リン酸リポフラビンナトリウムを含有する。

## 保管および取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。  
(2) 小児の手の届かない所に保管すること。  
(3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)  
(4) 本剤の使用期限は外装に記載してあるので、使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。また、一度開封した後は、品質保持の点から開封後より6か月以内に服用すること。  
(5) 箱の「開封年月日」記入欄に、開封した日付を記入すること。

本品についてのお問い合わせは、お買い求めの薬局・薬店又は下記にお願い致します。  
第一三共ヘルスケア株式会社 お客様相談室  
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 36-2  
電話 03(6667)3232 受付時間 9:00～17:00 (土、日、祝日を除く)

〈ホームページアドレス〉 <http://www.daiichisankyo-hc.co.jp/>



販売元

第一三共ヘルスケア株式会社  
東京都中央区日本橋箱崎町36-2

製造販売元

佐藤製薬株式会社

東京都港区元赤坂1-5-27